

風の林大

第13号

高知県立林業大学校



令和2年3月20日、基礎課程23名、専攻課程13名全員が無事卒業しました。

皆様には、これからの林業や木造建築をけん引する人材として、県内各地でいきいきと仕事をすることを率先して実行し、研鑽を積み、本県の中山間地域を盛り上げるために、大いに力を発揮していただきたいと思

以下、濱田知事祝辞、隈校長式辞、卒業生代表挨拶を抜粋して紹介します。

濱田知事祝辞

県勢浮揚を図っていくためには、豊かな自然や食文化など本県の強みを宿す中山間地域の再生なくしては成し得ません。そして、中山間地域の再生には、林業の振興が不可欠であり、そのためには木材需要の創出を図り、本県の充実した森林資源を余すことなく活用していくことが必要です。

林業大学校を卒業され



隈校長式辞

卒業生全員が、林業の関係、木の関係の就職が決まったというところで、何より大変うれしく思っています。これから木の時代が始まるというふう

林業の聖地、中心、高

高知県立林業大学校卒業式



知県。84%の森林を持つ県の林業大学校で育った皆さんが、これから日本の林業、日本の木の産業を、間違いなく担っていくと私は確信しております。



卒業生代表挨拶

思い返してみると、昨年の4月13日に、木の香りが溢れる校舎で入校式を挙げていただいた時から1年という時間が過ぎました。入校式で隈校長からいただいた「この20年間で木に関わる新しい技術が進んだ、これからはもっと新しいことが起こる、新しい時代を担う人材になってほしい、世界につながる大きなビジョンでできた学校で学ぶ皆

さんに対する私の期待は大きい。」とお言葉を胸に36名の研修生が互いに切磋琢磨し、就業に必要な知識や技術の習得に励み、本日無事卒業を迎えることとなりました。これから私たちは本校を離れ、それぞれの道を歩んでいくこととなりますが、志を持ってさまざまなことに挑戦し、次世代の森林・林業・木材産業をけん引する存在へと成長していきたいと思

入校以来、知識も技術も未熟な私たちに、懇切丁寧に指導くださった講師の先生方を始め、現場実習やインターンシップを受け入れていただきました森林組合や林業事業体、建築・設計関係企業の皆様、また、県立森林技術センターの皆様、そして、私たちが1年間見守ってくださった林業大学校の皆様、この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。わず



今年度は基礎課程の卒業生23名のうち20名が専攻課程へ進学し、3名が就職しました。
専攻課程については13名全員が森林組合や林業事業体、建築設計事務所に就職し、今年度も就職率100%を達成しました。

最後にありますが、令和元年度も本校において教鞭を執ってくださいました特別教授をはじめ多数の先生方、インターンシップを受け入れてくださった森林組合や林業事業体ならびに関係者の皆様方、この場をお借りして心から感謝申し上げます。